

山口県山口市および宇部市沿岸部におけるシロマダラ *Lycodon orientalis* の記録

松向寺智哉¹⁾・川崎颯翔²⁾

¹⁾ 筑波大学理工情報生命学術院, 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

²⁾ 山口県立宇部高等学校, 山口県宇部市寺の前町3丁目3-1

はじめに

シロマダラ *Lycodon orientalis* (Hilgendorf, 1880) は北海道, 本州, 四国, 九州および周辺の島嶼に分布する日本固有種であり, 主に山地の森林などに生息する。頭胴長は 240 ~ 600 mm ほどで, 体色は背面が単灰褐色または灰褐色であり胴におよそ 40 個, 尾に 15 ~ 20 個程の明瞭な黒褐色の横帯があり, 腹板は 200 ~ 215 枚であり尾下板は 70 ~ 75 対である (松井・森, 2021)。食性は主にトカゲや小さなへびなどの爬虫類であるがカエル, 甲虫, 蛾などを捕食していた記録もある (Kubo & Fukuyama, 2024)。本種は県内の内陸部や山間部のほか, 見島や周防大島などの島嶼部からも記録され (徳本ら, 2002; 徳本ら, 2003; 川原ら, 2022; 松向寺ら, 2025), 夜行性であり狭い空間を好んで利用するため発見例が比較的少ないへびである。また, 山口県レッドリスト 2018 においては準絶滅危惧種 (NT) に指定されており, 森林開発・道路整備等による生息環境の変化により減少していると考えられている (山口県, 2018)。

著者らは 2025 年 9 月に山口市と宇部市の各一地点でシロマダラの幼体および成体を確認したので報告する。

採集記録

2025 年 9 月 5 日に第一著者は山口市秋穂東地区における海岸沿いの道路上にて幼体 1 個体を採集した (図 1A; 図 2A)。採集された幼体は頭胴長 199.77 mm であり尾長は 49.30 mm であった。胴部および尾部の横帯数, 腹板数, 尾下板数を確認したところ, 採集された本種の横帯数は胴の背部で 43 個であり, 通常分離している横帯が部分的に結合しているものを一つの横帯として数えると 42 個となり, 尾部で 23 個, 一方腹板は 200 枚, 尾下板は 74 対であった。これらは松井・森 (2021) で示されたシロマダラの各鱗形質の枚数に収まるため当該個体は本種として同定された。

同年 9 月 14 日には第二著者によって宇部市西岐波地区の道路上において死後数日経過した成体 1 個体が発見された (図 1B; 図 2B)。当該個体は発見当時既に死亡しており, 乾燥が進んでいる状態であった。食肉目による咬傷および猛禽類による啄創等は確認できず, 外圧が加わったことにより頭部から尾部にかけて扁平に潰れた状態であったことから車両によって轢かれ死亡した可能性が高いと考えられる。全長は目測で 300 mm ほどであり, 胴部の背面および腹面の模様により本種の成体と同定した。

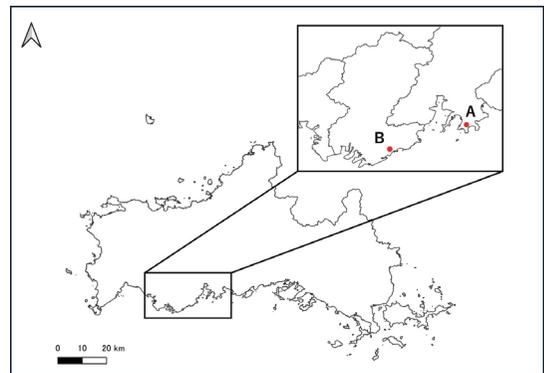


図 1. シロマダラの確認された地点。
A: 山口市秋穂東, B: 宇部市西岐波



図 2. 確認されたシロマダラ。
A: 山口市秋穂東の個体, B: 宇部市西岐波の個体

考 察

これまで県内における本種の記録は内陸部や山間部での記録が多いが（徳本ら，2002；徳本ら，2003），本報告で得られた 2 個体は海岸付近の道路上で捕獲された。川原ら（2022）は山口県萩市見島の海岸付近において本種の轢死体を拾得しているほか，松向寺ら（2025）においても海岸から近い宇部市西岐波地区で本種の轢死体を確認している。本種は男女群島の女島において海岸と森林環境が極めて近い環境において生息が確認されているほか（柴田ら，1988；松尾・磯崎，1997），第一著者はこれまでに県外の海岸に隣接した海岸防災林や小規模の自然林において本種の生息をいくつか確認しているため，県内における本種の生息地は他県と同様に山間部から平地，海岸付近まで広く達している考えられる。

宇部市からの本種の記録は本報告で二例目となり，ともに西岐波地区からの記録であった。西岐波地区は比較的大きな森や住宅地，田畑からなる農村環境のほか，佐名河内溜池周辺および沢波川に沿って複数の田んぼや林が存在する湿潤な環境を有しているため自然度が高く（宇部市，2023），本種の生息地として適していると考えられ，比較的安定した個体数が本地域に生息していることが示唆される。

引用文献

- Gumma K., Fukuyama I. (2024) First record of amphibian prey for the Oriental Odd-Tooth Snake, *Lycodon orientalis* (Hilgendorf, 1880), in Japan. *Herpetology Notes*: 603–605.
- 川原康寛・伊達千絵・磯野淳子・樋口尚樹 (2022) 見島におけるシロマダラ *Lycodon orientalis* の初記録. 萩博物館調査研究報告, (18): 1–4.
- 松井正文・森 哲 (2021) 「新日本両生爬虫類図鑑」 pp. 165–166. サンライズ出版, 滋賀.
- 松向寺智哉・渡邊直也・松向寺悠斗 (2025) 宇部市南部地域における特筆すべきヘビ類の記録. 山口県の自然, (85): 19–25.
- 松尾公則・磯崎末徳 (1997) 男女群島女島のシロマダラ. 長崎県生物学会誌, (48): 86.
- 柴田保彦・浜野荘一郎・江島正郎・松尾公則 (1988) 男女群島から発見されたシロマダラ. 大阪市立自然史博物館研究報告, (42): 25–32.
- 徳本 正・山岡郁雄・田中 進 (2002) GIS (地理情報システム) を用いた野生生物分布調査 II 山口県におけ

るへび類の生息状況について. 山口生物, (28):3–26.

徳本 正・山岡郁雄・大木克行 (2003) 山口県におけるシロマダラの採集記録. 山口県の自然, (63):15–20.

宇部市 (2023) 宇部市自然環境調査報告書. https://www.city.ube.yamaguchi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/002/795/sizen_honpen.pdf (2025年12月閲覧)

山口県 (2018) シロマダラ. 山口県レッドリスト 2018, <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/53763.pdf> (2025年12月閲覧)